

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330521130B	エクスターンⅠ(小)	高田由基・宮武里衣			1	選択	2前期

科目の概要

こどもの生活学科の目標である「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材」となる「よき教育者の育成」及びD P 1 に記載してある建学の精神と社会人基礎力、D P 2 の教育現場での課題に対する見識を深め、専門的知識と技能を修得した教師の育成を目指して行う。またD P 3 に関わって 教育職としての専門性を高めるために、実践的な活動を通して様々な体験を積むプログラムとなっている。本科目では大学近隣の提携小学校へ教育ボランティアとして出向き、現場経験を積むことが主な内容である。

学修内容	到達目標
① 進路を明確にする。 ② 実践活動のための目標を考える。 ③ 実践活動のための計画を立てる。 ④ 実践活動の振り返りを行う。	① 学校の教育活動についての知識を修得し、自身の進路を具体的にイメージすることができる。 ② 実践活動のための目標を活動場面に合わせて設定できる。 ③ 実践活動のための計画を、実際の活動場面に即して立案できる。 ④ 実践活動を振り返り、より良き実践を行うための課題解決の方法を具体的に述べるができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標を設定し、自主的に活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	実践活動で成果を上げるために、計画にそった行動をとることができる。
考え抜く力	課題発見力	教育や保育の現場に関する課題だけでなく、自身の活動に対する課題を発見できる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなく、多角的・多面的に考えることができる。
チームで働く力	発信力	実践活動について、客観的な視点で自身を振り返り、文字にして記述することができる。
	傾聴力	他者の意見を受け入れながら、自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	円滑に活動が進行するよう、諸々のルールを遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用せず

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：小学校教員免許状取得に必要となる「介護等体験実習」など各種実習の前段階として、教師等の補助的役割を通し子どもとの関わりの実際を体験していく。本授業は、その後に履修する「エクスターンⅡ」や以後の教職関係の科目や免許状取得に必要な実習へと繋がっていく。
資格との関連：小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
教育現場に出向いての活動なので、事前オリエンテーションにて内容を十分に理解する必要がある。また、途中で投げ出すと協力していただいている学校に多大なご迷惑をおかけすることになるので、そのようなことがないよう、気持ちを引き締めて臨むこと。	・活動先でのルールは絶対遵守すること。 ・活動報告を毎回提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	70	①	✓			・自身の進路に対する考えを、記述することができる。 ・エクスターンにて何を習得したいかを記述できる。 ・エクスターンでの目標に対する計画を構成し、記述できる。 ・学校現場での学びや気づきを踏まえた活動報告書を作成し、毎回提出することができる。 ・知識の獲得40% 毎回の報告書 ・知識の活用40% 巡回での指導 ・課題解決20% 今後の指導方法の提案
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓			・エクスターンで学んだことやこれから教師を目指すうえでの課題をまとめて発表できる。 ・知識の獲得40% 現場での教育についての学びと報告 ・知識の活用40% 獲得した知識をどのように活用したか ・課題解決20% 今後の教育現場に立った時どのように課題解決していくかの提言
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）到達目標を設定し、自主的に活動に取り組むことができる。 （実行力）実践活動で成果を上げるために、計画にそった行動をとることができる。 （課題発見力）教育や保育の現場に関する課題だけでなく、自身の活動に対する課題を発見できる。 （規律性）円滑に活動が進行するよう、諸々のルールを遵守することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・学外活動の意義を理解し、自分を磨く意識を持って積極的に活動し、現場の理解を深めることができた。 ・計画・企画を進んで行うことができ、実践に生かすことができた。 ・上記2点において、秀でた活動を行った場合にはS（秀）評価とする。	・自分のすべき行動を理解して、活動を行うことができた。 ・活動計画や活動のための提案することができた。 ・与えられた任務を問題なくこなすことができた。 ・活動実施や提案、任務遂行等で上記の内容まで到達していない、又は提出物の遅れC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	【初等教育コース】 ・エクスターンシップ 実習の意義を学ぶ。 ・ボランティア先の小学校について調べる。	1. 講義：学校という教育現場 2. 演習、発表：本授業の受講動機や教職志望の理由、本授業で学びたいことの発表。	実習校の情報を収集し、目的を明らかにすることができる。	(予習) 希望する活動を確認する。 (復習) 活動報告を作成し、口頭で担当教員に伝える準備をする。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校について調べる。	1. 講義：学校における教育活動 2. 演習、発表：エクスターンシップ実習の目標、計画を立案し発表。	活動場所の情報を収集し、事前オリエンテーションに向く準備をすることができる。	(予習) 実習校の位置や教育環境を調べる。 (復習) 調査票をまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、打ち合わせをする。	講義・演習：実習校の実際、実習に当たっての留意事項の講話。校舎見学、授業参観。	事前オリエンテーションの調整をし、活動場所での留意事項がまとめられる。	(予習) 実習校の位置や教育環境を調べる。 (復習) 活動計画を立てる。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
4	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する①。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する②。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する③。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する④。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑤。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑥。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習）次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 （復習）活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑦。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習）次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 （復習）活動報告書にまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑧。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習）次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 （復習）活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
12	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑨。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習）次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 （復習）活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 状況把握力
13	【初等教育コース】 ・ボランティア先の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑩。	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア（サポート）記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる（実習時間以外）	実習校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	（予習）次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 （復習）活動報告をPPにまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
14	・活動報告書のまとめをする。	1. 発表：エクスターンシップ実習先の小学校での活動内容をPPを用いての発表。 2. 演習：実習を通して考えたことや感じたこと、今後教職を目指すに当たっての決意をまとめ、Google Classroomで提出。	活動の目的、子どもの観察・教員の言動の考察などを整理することができる。	（予習）活動報告の発表準備をする。 （復習）クライメイトの発表を振り返る。	180	主体性 実行力 規律性
15	・前時の発表をビデオで見て、活動から感じたことをまとめ、将来の夢につながる事柄を見出す。	・クラスルームに挙げたあるビデオの視聴。 ・ビデオについての意見の記入。 ・クラスルームへの意見の提出。	活動の目的、子どもの観察・教員の言動の考察などを整理し、自身の将来の進路の方針を立てることができる。	（予習）活動報告書の整理をする。 （復習）活動報告書及び他者の発表内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330522131B	エクスターンⅡ(小)	小倉弘之・高田由基			1	選択	2 後期

科目の概要

こどもの生活学科の目標である「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材」となる「よき教育者の育成」及びD P 1・5に記載してある建学の精神と社会人基礎力、D P 3の教育現場での課題に対する見識を深め、専門的知識と技能を修得した教師の育成を目指して行う。またD P 3・6に関わって、教育職としての専門性を高めるために、実践的な活動を通して様々な体験を積むプログラムとなっている。本科目では大学近隣の提携小学校へ教育ボランティアとして出向き、現場体験を積むことが主な内容である。

学修内容	到達目標
① 自身の進路を明確にする。 ② 実践活動のための目標を考える。 ③ 実践活動のための計画を立てる。 ④ 実践活動の振り返りを行う。	① 学校の教育活動についての知識を修得し、自身の進路を具体的にイメージすることができる。 ② 実践活動のための目標を活動場面に合わせて設定できる。 ③ 実践活動のための計画を実際の活動場面に即して立案できる。 ④ 実践活動を振り返り、より良き実践を行うための課題解決の方法を具体的に述べるができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標を設定し、自主的に活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	実践活動で成果を上げるために、計画に沿った行動をとることができる。
考え抜く力	課題発見力	教育や保育に関する課題だけでなく、自身の活動に対する課題を発見できる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなく、多角的・多面的に考えることができる。
チームで働く力	発信力	実践活動について、客観的な視点で自身を振り返り、文章で記述することができる。
	傾聴力	他者の意見を受け入れながら、自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	円滑に活動が進行するよう、諸々のルールを遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用せず

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：
 小学校教員免許状取得に必要となる「介護等体験実習」など各種実習の前段階として、教師等の補助的役割を通し子どもとの関わりの実感を体験していく。本授業は、その後に実施する「教育実習」や以後の教職関係の科目、免許状取得に必要な学修と関連している。

資格との関連：小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
教育現場に出向いての活動なので、事前オリエンテーションにて内容を十分に理解する必要がある。また、途中で投げ出すと協力していただいている学校に多大なご迷惑をおかけすることになるので、そのようなことがないよう、気持ちを引き締めて臨むこと。	・活動先でのルールは絶対遵守すること。 ・活動報告を毎回提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	70	①	✓			・自身の進路に対する考えを、記述することができる。 ・エクスターンにて何を習得したいかを記述できる。 ・エクスターンでの目標に対する計画を構成し、記述できる。 ・活動報告書を作成し、毎回提出することができる。 ・知識の獲得50%（毎回の報告書） ・知識の活用50%（巡回での指導）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓			・エクスターンシップ実習で学んだことやこれから教師を目指すうえでの課題をまとめて発表できる。 ・知識の解決100%（発表の内容）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）到達目標を設定し、自主的に活動に取り組むことができる。 （実行力）実践活動で成果を上げるために、計画にそった行動をとることができる。 （課題発見力）教育や保育の現場に関する課題だけでなく、自身の活動に対する課題を発見できる。 （創造力）固定概念に捉われることなく、多角的・多面的に考えることができる。 （発信力）実践活動について、客観的な視点で自身を振り返り、文字にして記述することができる。 （傾聴力）他者の意見を受け入れながら、自分の意見を述べることができる。 （規律性）円滑に活動が進行するよう、諸々のルールを遵守することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・学外活動の意義を理解し、自分を磨く意識を持って積極的に活動し、現場の理解を深めることができた。 ・計画・企画を進んで行うことができ、実践に生かすことができた。 ・上記2点において、秀でた活動を行った場合にはS（秀）評価とする。	・自分のすべき行動を理解して、活動を行うことができた。 ・活動計画や活動のための提案することができた。 ・与えられた任務を問題なくこなすことができた。 ・活動実施や提案、任務遂行等で上記の内容まで到達していない、又は提出物の遅れC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・エクスターンシップ 実習の意義について学ぶ。 ・活動場所となる小学校について調べる。 (小倉1/2・高田1/2)	1. 講義：学校という教育現場 2. 演習、発表：本授業の受講動機や教職志望の理由、本授業で学びたいことの発表。	活動場所の情報を収集し、目的を明らかにすることができる。	(予習) 希望する活動を確認する。 (復習) 活動報告を作成し、口頭で担当教員に伝える準備をする。	180	主体性 実行力 規律性
2	・活動場所となる小学校について調べる。 (小倉1/2・高田1/2)	1. 講義：学校における教育活動 2. 演習、発表：エクスターンシップ実習の目標や計画を立案して発表	活動場所の情報を収集し、事前オリエンテーションに向く準備をすることができる。	(予習) 活動場所の小学校の位置や教育環境を調べる。 (復習) 調査票をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	・活動場所の小学校に出向き、打ち合わせをする。 (小倉1/2・高田1/2)	1. 講義・演習：小学校の実際、活動に当たっての留意事項の講話。校舎見学、授業参観。	事前オリエンテーションの調整をし、活動場所の小学校での留意事項等をまとめることができる。	(予習) 活動場所の小学校の教育活動について調べる。 (復習) 調査票をまとめる。事前オリエンテーションの内容をまとめる。(Google Classroomドキュメントに提出)	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する① (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※実習での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(実習時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する② (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する③ (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する④ (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑤ (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑥ (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑦ (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑧ (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑨ (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・活動場所の小学校に出向き、学校ごとの活動に参加する⑩ (小倉1/2・高田1/2)	1. 演習：授業や休み時間において担当教員の指導を受けながら、サポートの実施。 2. 演習：ボランティア(サポート)記録を訪問日ごとにまとめ、担当教員に提出。 ※活動での疑問や不安等をGoogle Classroomで担当教員と相談できる(活動時間外)	活動場所の小学校において子どもとの対応が円滑にでき、指導者の言動の意図が考察できる。	(予習) 次回の活動内容をイメージし、その内容について調べる。 (復習) 活動報告書にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・活動報告とまとめ	1. 発表：エクスターンシップ活動先の小学校での活動内容をPPTを用いて発表。 2. 演習：実習を通して考えたことや感じたこと、今後教職を目指すに当たっての決意をまとめ、Google Classroomで提出。	活動の目的、子どもの観察・教員の言動の考察などを整理することができる。	(予習) 活動報告の発表準備をする。 (復習) これまでの活動や発表を振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・前時の発表等の動画を見て、感じたことをまとめ、将来の目標につなげる。	オンデマンド	活動の目的、子どもの観察・教員の言動の考察などを整理し、自身の将来の進路の方針を立てることができる。	(予習) 活動報告書の整理をする。 (復習) 活動報告書及び他者の発表内容をまとめ、Google Classroomに提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力